



さらがい ふみ

星田 7-44-21

☎894-2835



藤田 まり

私部 6-17-1-209

☎397-3027



北尾 まなぶ

倉治 7-8-7

☎893-3163

## 市役所本庁舎の耐震化へ動き出す

### 青年の家エレベーター 10月議会に予算提案へ

7月12日の議員全員協議会で、市役所本庁舎の耐震化工事を実施し、青年の家にエレベーターを設置する方向性を示しました。

現在の市役所本庁舎は耐震化できておらず、現庁舎を耐震化するのか、新庁舎を建設するのか検討が続いてきました。

前の黒田市長時に、「新しい庁舎をいきいきランド敷地内に建設」「青年の家は廃止し庁舎に統合」する構想が決められました。が、事業費の増大（約83億円）などにより、計画を再考するとしたまま約3年が経過していました。

12日の全員協議会で、市は、次のような検討の「結論」を示しました。

(市の資料より)

【結論】

◆現在の財政状況では、ここ数年の間に庁舎整備に投資することは現実的でない。

◆現庁舎の耐震化工事により、まずは優先的な課題である庁舎の耐震安全性を確保。  
◆耐震化後の庁舎が活用できる期間及び財政見通しも勘案し、新庁舎建設時期を判断。

◆延命措置により、財政上の課題である土地開発公社の解散、新ごみ処理施設や小中一貫校の起債償還終了も見通すことができる。

◆DXの進展等の社会状況の変化にも対応した検討を進める。

◆庁舎と集約化を検討していた青年の家については、利用者の利便性、バリアフリーの観点からエレベーターの設置を速やかに実施する。

庁舎の耐震改修の費用は約11億円で、今後80年間のライフサイクルコスト（30年後に新庁舎を整備する想定）でも、いま新庁舎を建設するより耐震改修のほうがコストを抑えられる試算です。

現庁舎を耐震化する場合、工事中の仮庁舎（仮執務室）は、別館3階を中心に移転させるパターンが外的要因が少なく、課題を整理したうえで、来年度当初予算に耐震化

にむけた予算を提案できるような準備中との説明がありました。

また山本市長は、青年の家のエレベーター設置にむけた予算を10月議会に提案したいと表明しました。

日本共産党はこれまで、いきいきランドは駅から遠く市民が利用しにくく、新庁舎建設は事業費が大きすぎるなどから、まず現庁舎の耐震工事で安全を確保し、青年の家はエレベーター設置・改修を行い継続するよう求めてきました。山本市長の公約である「市役所は建替えでなく耐震化」にむけて、具体化に動き出しました。

